

(関係部門へご回覧ください)

システムリスク管理の実務(基礎～中級編)

本セミナーでは、金融機関における実務経験を有し、リスク管理、内部監査、IT等の各領域に関与する講師の立場から、「金融検査マニュアル」その他の各種指針等を広く俯瞰しつつ、実務上の大きな問題となっている情報セキュリティ、外部委託管理、プロジェクト監査等の論点に言及します。システムリスクの考え方、監査手続等についてケーススタディや最近の動向を踏まえて平易に解説します。

システムリスク管理に初めて従事する方をはじめ、内部監査で初めてITに携わる方、経営企画、リスク管理等で将来的なITに関する人材育成に関心をお持ちの方、システムリスク管理の知識をブラッシュアップしたい方を対象とします。

開催日：2018年7月12日(木)～13日(金) (2.0日間)

会場：ニッキンホール(東京・市ヶ谷)

講師： (ご講演順・敬称略)

デロイトトーマツリスクサービス

シニアマネジャー

荒川 真海

有限責任監査法人 トーマツ

マネジャー

関谷 正樹

主催：C M C

Computer Based Management College

<http://www.nikkin.co.jp/cmc/>

※上記サイトからWebでの申し込みが出来ます

後援：一般社団法人 全国地方銀行協会
一般社団法人 第二地方銀行協会
一般社団法人 全国信用金庫協会
一般社団法人 全国信用組合中央協会

研修のねらい

システムリスク分野は専門性の高い業務領域として、その実務対応の高度化が求められてきました。一方で、内部監査部門に対する経営からの要求は近時ますます高まっており、システムリスク分野においても例外ではありませんが、監査資源や監査スキルの問題からこの分野には十分な対応がなされていないケースもあります。システムリスク分野は、その専門性の高さや業務の特質などから、従来、外部機関へのコ・ソーシング等により補われてきましたが、外部委託先管理や情報セキュリティなどの課題も増加し、実務面の対応は避けて通れないところとなっています。

最近のシステムリスクのトピックとしては、サイバーセキュリティへの対応や、クラウド利用、外部委託先管理の厳格化があります。本セミナーでは、金融機関に求められる管理態勢について総合的に解説します。

また、金融機関は規模を問わずシステム統合、システム開発プロジェクトに伴う管理態勢、監査への要求は依然として高いことから、実務の上で、次期システム開発時の要点やIT部門として保持しておくべきスキルセットについても解説します。

研修のテーマ

- 1 システムリスク管理の概要
- 2 次期システムの開発時の要点

開催要綱

開催日：2018年7月12日（木）・13日（金） 2日間

時 間：1日目 10:30～16:00（10:00受付開始）

2日目 10:00～16:00（9:30受付開始）

会場：ニッキンホール（東京・市ヶ谷）

講師：デロイトトーマツリスクサービス 荒川 真海 氏

（略歴） 外資系大手 IT ベンダーを経て監査法人トーマツに入社し、現在は関連会社であるデロイトトーマツリスクサービスに所属。金融機関のシステムリスク管理、IT ガバナンス関連、内部監査部門の支援等を担当しており、金融機関に対する IT ガバナンス態勢構築支援、システムリスク管理態勢構築支援、クラウドサービスやサイバーセキュリティリスクに係るアドバイザリー業務や第三者評価業務を実施。近時はサイバーセキュリティ最新動向に係る執筆活動等にも従事。

有限責任監査法人トーマツ 関谷 正樹 氏

（略歴） 慶應義塾大学商学部卒、信託銀行及び日系・外資系コンサルティング会社を経て現職。銀行や証券等に対して、システム第三者評価、業務/システムプロセス効率化、プロジェクト管理規程策定、PMO、オペリスク管理態勢整備、事務過誤対策、AML 管理態勢整備、会計プロセスの設計等の支援に従事。また、金融業向け IT プロジェクトの要件定義から機能設計、詳細設計、開発、移行、運用、PMO まですべてのフェーズに携わる。共著に『金融機関のオペレーショナル・リスク管理態勢』、『金融犯罪対策の手引き』（金融財政事情研究会）、その他、金融機関の業務品質向上、リスクマネジメント等に関する論文多数。金融情報システムセンター（FISC）、金融財政事情研究会、中央大学ビジネススクール等にてセミナー講演実施。 会計士補、上級システムアドミニストレータ）

受講料：CMC 会員価格 64,800円（本体価格60,000円 消費税4,800円）
後援協会会員価格 69,120円（本体価格64,000円 消費税5,120円）
一般価格 73,440円（本体価格68,000円 消費税5,440円）

定員：40名（最少開催人数 10名）

「システムリスク管理の実務(基礎～中級編)」カリキュラム

1日目 7月12日(木) 10:30~16:00 (10:00 受付開始)

I-1. システムリスク管理の概要

- (1) 「システムリスク」とは? 内部監査部門の役割は?
～「金融検査マニュアル」、「監督指針」、「指摘事例集」等から
・システムリスク管理のPDCAサイクル概要、事例、実態など
- (2) システムリスクアセスメント
・システムリスクアセスメントの手順

I-2. FSA/FISC 最新動向を踏まえた監査・統制のポイント

- (1) 今後の検査・監督の方向性
・方針変化によるシステムリスク管理の目指す姿
- (2) セキュリティと内部監査
・セキュリティ事件事例やサイバー攻撃事例を踏まえた監査手続の例
- (3) システム管理と内部監査
・開発管理、運用管理の実務上の留意点と監査手続
・システムテストのシステム部門、ユーザー部門、内部監査部門の役割
・システム障害管理の概要と対応策 ・制限値管理の実務と留意点
- (4) 外部委託管理と監査
・外部委託先管理の実務と情報管理
・ITに関する外部委託監査の事例と監査のチェックポイント
・クラウドサービス固有リスクに係る評価ポイント
- (5) コンティンジェンシープランと内部監査
・BCPとBCMなど用語の整理
・コンティンジェンシープランの監査手続

2日目 7月13日(金) 10:00~16:00 (9:30 受付開始)

II. 次期システムの開発時の要点

- (1) システムライフサイクル
・システムライフサイクルの概要 ・事業戦略とIT戦略 ・RPA
- (2) 現行システムの評価
・全システム範囲の把握 ・システムリスクアセスメント
- (3) システム開発プロセス
・ウォーターフォール型とアジャイル型 ・システム開発プロセスの各作業
- (4) プロジェクトマネジメント
・プロジェクト管理の重要性 ・プロジェクト標準 ・PMOの役割
- (5) 期待されるIT人材
・要求されるスキルセット ・IT人材の育成
- (6) 金融検査マニュアルの観点
・システム統合リスク管理態勢の確認検査用チェックリスト ・事件事例等
(昼食はこちらで用意いたします)

3 4

第83回 金融機関 システム部門マネジメントセミナー
「システムリスク管理の実務（基礎～中級編）」
 ホームページ用受講申込書（7月12日・13日開講）

貴社名

所在地 〒

TEL

FAX

Eメール

	参加者氏名	所属（部・課・グループ）	役職

☆お申し込みいただきました方には、受講証・請求書・会場地図を郵送いたします。

受講料 A：CMC会員価格 64,800円（本体価格60,000円）

B：後援団体会員価格 69,120円（本体価格64,000円）

C：一般価格 73,440円（本体価格68,000円）

お問い合わせは、

（2日目の昼食はこちらで用意いたします）

株式会社 CMC

TEL 03-3261-4550 FAX 03-3261-4570 まで。

注：振込先銀行

みずほ銀行 市ヶ谷支店 普通預金 1797042 （名義） 株式会社 CMC

振込予定日（できるだけご記入ください） 月 日

受講についてのお願い

- ①受講料は、セミナー開催日までにお振込みください。
- ②銀行振込の場合は領収書を発行いたしません。
- ③銀行振込に際しては、可能であれば貴社名の前に請求書番号の下3桁（枝番数字）を付記してください。
振込手数料は貴機関でご負担をお願い申し上げます。
- ④開催日一週間以内の受講キャンセルの場合、受講料の払い戻しはいたしません。
- ⑤講演中の録音・撮影ならびにパソコン・携帯電話の利用はご遠慮ください。
- ⑥ホームページに提携ホテル一覧がございます。特別割引もございますので是非ご利用ください。
- ⑦諸般の事情により開催を中止させていただく場合がございます。